

The image shows a close-up, top-down view of a stack of cut logs. The logs are arranged in a somewhat circular pattern, with their ends facing the viewer. The wood is a warm, reddish-brown color, and the grain is clearly visible as concentric rings. The bark is dark and rough. A semi-transparent white rectangular box is overlaid in the center of the image, containing the title text. The text is in a clean, white, sans-serif font.

備北森林組合  
中期経営計画  
Change2026

2022.03.28

# 目次

## I. 理念・ビジョン

1. 2026ビジョン
2. 経営理念の咀嚼
3. 目指すべき業務サイクル

## II. 戦略

1. 組織戦略
2. 人事戦略
3. DX戦略

## III. 施策への落とし込み

1. 中期経営計画（数値計画）



# I. 理念・ビジョン

# 1. 2026ビジョン



# 1. 2026ビジョン

備北森林組合では、2026ビジョンとして、以下の5つを掲げ、取り組みを進めます。

1. 「人を育てる人」が活躍できる組織風土を築き上げ、  
人の集まる組合を目指します。
2. 技術員と職員がうまく連携することで、  
現場品質とチーム生産性を高める仕事をします。
3. 素材生産比率を高める善循環の業務サイクルを確立し、  
組合員の幸福と循環型社会に貢献します。
4. 善循環サイクルを回すため、デジタル技術を用いて  
組合員へ中長期視点での適切な提案をします。
5. 将来必要な資源（人・組織・設備・IT）に積極投資し、  
全員が働きやすい職場づくりを目指します。

## 2. 経営理念の咀嚼

理念	咀嚼（行動言語への置き換え）
<p>森林組合は、地域の森林を共同の力で 1 育て・守り・適切な森林管理を行うための要となる組織である</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①誇りの持てる仕事をする</li> <li>②森林経営計画をくむなどして適切な管理の時期を考える</li> <li>③情報誌及びHPを活用し、内容を考え色々な事を発信する</li> <li>④森林の状態に応じた適切な施業を提案する</li> </ul>
<p>森林所有者が安心して森林管理を託 2 することができる森林のプロ集団でなければならない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①森林所有者とのコミュニケーション</li> <li>②的確な施業提案ができる</li> <li>③山林の現状を把握し、その山林にあった施業を行う</li> <li>④組合員さんが相談に来られたら出来るだけ丁寧に対応する</li> <li>⑤森林所有者のニーズに応じて、それぞれ適した助成金等を利用して豊かな森林を管理していく</li> <li>⑥知識をつける</li> <li>⑦保育事業に関する知識・技術の向上</li> <li>⑧森林所有者に喜んでもらえる作業をする</li> </ul>
<p>森林所有者のため、木材利用者のため、 地域のため、そして環境のために森林整 3 備を通じて、たくさんの命が育まれる美しい森林を育て、組合員に対する奉仕と地域に対する貢献をすることである</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生物多様性を重んじる</li> <li>②良い苗木を仕入れて植え、適切な手入れをし、少しでも高く売り山主（組合員）に還元する</li> <li>③人工林の放置林を見れば所有者を探して手入れの話をする</li> <li>④景観整備を進める</li> <li>⑤それぞれの現場に応じた作業を丁寧に行う</li> </ul>
<p>私たちは、常に切磋琢磨し厳しく挑戦を 4 続ける。そして美しい森林・豊かな森林を支える技術を次世代に受け継いでいくために</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①行政とのコミュニケーション。情報交換</li> <li>②森林施業に対し向上心を持ち続ける</li> <li>③人材確保に努めて育てようとしている</li> <li>④新しい技術・機械等の導入</li> <li>⑤森林に関わる情報の交換・発信をする。資格の取得</li> <li>⑥伐採跡地への植え付けに取り組む</li> <li>⑦より良い森林を将来に残していくため、知識を増やす。 技術者とも施業の方法をミーティングしながら、豊かな森林を育てていく。</li> </ul>

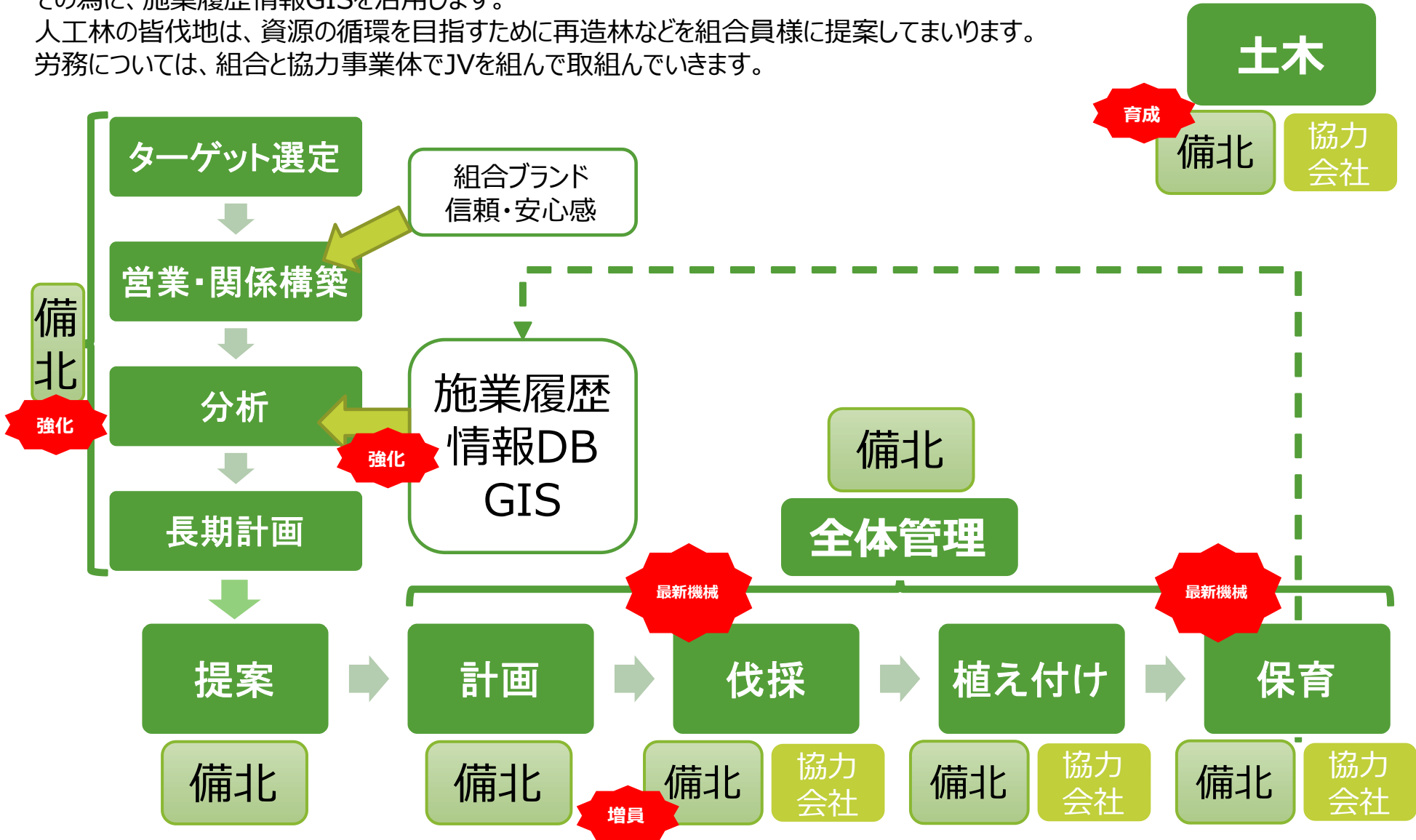
# 3. 目指すべき業務サイクル

組合員様の森林の中から、収入に繋がられる皆伐地・収入間伐を探し、提案して行きます。

その為に、施業履歴情報GISを活用します。

人工林の皆伐地は、資源の循環を目指すために再生林などを組合員様に提案してまいります。

労務については、組合と協力事業体でJVを組んで取組んでいきます。





## II. 戰略



# 1. 組織戦略

## (1) 組織ビジョン

- 組織ビジョンとは 組合理念を実現するために組織がどうあるべきか？を明文化したもの

### 組織ビジョン

森林所有者に安心して森林管理を託して頂くためには、

現場技術員・職員一人ひとりが森林のプロ集団でなければなりません。

ただし、プロ集団というのは、個の集団を示すものではありません。

森林所有者の安心・満足とその先の組合の成長・発展に向けて今こそ現場技術員と職員が一丸となり、個から組織に生まれ変わる必要があります。

そのためにも現場技術員・職員が安心して気持ちよく働ける職場づくりをしていきます。

## 2. 人事戦略

### (2) 「求める人材像」「人事ポリシー」

#### 求める人材像

- ①関わるすべての人の役に立ちたいという思いを持ち、誠実に仕事に取り組むことができる人
- ②協調性を持ってグループ作業を段取りよく進めることができる人
- ③現状に満足せず、向上心をもって環境変化に対応できる人

#### 人事ポリシー

制度の方針：公正・公平な評価基準を設ける事により、現場技術員・職員・組合が高い目標を持ち、共に成長できる関係の構築を目指します

教育・育成の方針：人が育つ仕組みを構築し、自ら考え行動する風土を目指します

評価・処遇の方針：生産性が高く、スキルや貢献意欲がある人が評価され、報われる運用を目指します

# 3. DX戦略

## 基本方針

「目指すべき業務サイクル」を回すために、ITへの投資を積極的に行う

## 期待成果

1. デジタル技術の導入により、生産性向上を実現し、事業の競争優位性を高める
2. やりがいや付加価値の高い仕事に人が専念できる環境を整える
3. 結果として、人の定着や採用力の向上につなげる